

コスモスしえんだより



紀伊コスモス支援学校

支援教育部

2017. 9. 4 第3号



夏恒例「教材作ろう会」の紹介

本校では、毎年夏季休業中に自立活動部が企画してさまざまな教材を作る機会を設けています。今年は、以下の3つの教材を作りました。教材を作るだけでなく、その教材を子ども達にどう提示するか（子どもの姿勢はどうか？子どもの視線はどこを向いているか？など・・・）についても確認し合いました。



【BCアダプター】

電池式のおもちゃ等をスイッチにつなげられます。



【ひもスイッチ】

小さな力でひっぱるスイッチです。



【時計の学習教材】

円上の目盛りを直線上にして考えられる教材です。

本校キャリア部より連載③

様々な体験・経験・チャレンジ精神がポイント！

小学校段階は、義務教育ではでキャリア発達の土台づくりとなる重要な時期です。小学生の特徴としては、

- ① 発達の可能性の大きい時期
- ② 変化の激しい時期
- ③ 好奇心の強い時期
- ④ 第1の節目(※)を体験する時期

※「第1の節目」・・・自律的な意志の確立から自発的、自主性の確立

～渡邊三枝子氏書籍引用～

特に家庭から学校への移行時期でもあります。学校生活に適應するために、低学年では道徳や特別活動等を中心としてキャリア発達と関連させた指導を意識することが大切です。

- (指導例)・返事や挨拶をする ・決められた時間や約束を守る ・良いこと、悪いことがわかる
- ・ありがとうやごめんなさいと言える
 - ・自分の気持ちが言える
 - ・係りや当番の仕事に取り組み、その大切さがわかる
 - ・作業の準備や片付けができる 等。

これらを指導する上で留意することは、「なぜ、しなければならないのか」「なぜ、必要なのか」ということをしっかり理解させることです。そして、主体的に取り組む環境も重要です。



交流・連携の場



今回は、児童発達支援センターひまわり園 谷直城園長に記事を依頼しました。就学前の子どもたちや保護者の方々と関わる中で感じていること、早期教育の立場から学校教育に求めることなどを中心に書いていただきました。

「福祉型児童発達支援センター」と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか。

この名称に変更され、早5年が経過しました。従来から障害児者福祉や教育に携わる方は「障害児通園施設」になじみを感じられるかもしれません。平成24年4月に改正された児童福祉法で、現在の名称に変更されました。施設機能は今までと変わらず、毎日療育・保育を行っていますが、その他の機能として、障害児相談支援や保育所等訪問支援の実施、地域の中での療育・保育のセンター的機能を有する施設として新たに定義されました。

ひまわり園で毎日、こどもたちとかかわり、日々、ぐんぐん成長・発達する姿をみつめたとき、ほんとうにこどもたちの発達する力はすばらしいと感じることが多々あります。それと同時に、保護者の方々の遅しさにも頭の下がる思いをたくさんしています。

生まれてから予期せぬできごとの連続で、児童発達支援センターにつながってくる家族はたくさんあります。その中で、家族でこどもと真剣に向き合い、こどもにとって、今、必要なことは何かをしっかりと考え、保健師や保育所等や児童発達支援事業の職員とともに話し合い、ひまわり園を選択されます。

そしてひまわり園入園後も、こどもの成長・発達に一喜一憂しながら、2～3年間、ひまわり園で生活し、期待と不安をもちつつ就学を迎えます。私たち職員は、しっかりと育ったこどもと保護者が支援学校や地域小学校ですてきな学校生活を送れることをねがい、見送ります。学校でよりすてきな成長・発達した姿を期待しています。そして自立した社会人として、学校を巣立っていくことをねがっています。

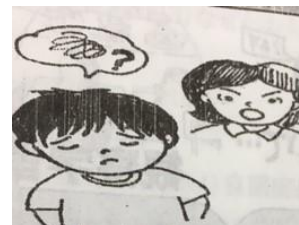
【自閉症の特性と教育的対応②】

—紀伊コスモス支援学校ガイドラインより—

「木を見て森を見ず」

シングル・フォーカス

(全体よりも部分に認知の焦点があたること)



例えば・・・

厳しい口調で何か言われた時・・・怒られたことしかわからず話の内容が聞き取れない。

また、一度体験したいやな体験が忘れられないという特性もっています。厳しい口調でまくしたてても、行動の改善は期待できません。まずは「わかりやすさ」「すごしやすさ」に配慮した環境を整えることです。

書籍の紹介



(「すごい道具」/ムック)

適切な支援グッズを使えば、できることは増えます。子どもに合った適切な支援グッズを探す手がかりとなる一冊です。